

闇川再生プロジェクト

A2200804 石井久美子・A2200813 斎藤晶・A2200829 三浦春香

【概要・目的】

闇川集落はかつては「炭と山菜の里」として知られており、炭を焼く技、俵や草履を編むすばらしい技術があるにも関わらず、それを生かす場と継承者がいなかった。

そこで一昨年発足した「闇川丸ごと自然を生かし隊」の方々と連携を取り、闇川の素材を生かして商品を開発し、それを通して闇川の素晴らしい技術を世間に広めることを目的とする。そこから一度闇川を離れた人が帰ってくることや、新しく闇川居住に興味を持たせることに繋げる。

また集落が経済的に豊かになり、私たちが提案した商品を製作する過程で住民同士の交流がより深まり、日々の楽しみに繋がるような商品を目指す。

【研究内容】

- ・現地調査をし、話を聞いたり闇川ならではの宝（資源）を探す。

炭や俵を作る技術、温かみのある笑顔、杉や美味しい食材などに会い、日用品を中心としたアイデア展開をし、発表したところ闇川の方たちのやる気に火をつける結果となった。

- ・認知度の少ない闇川をより全国に知ってもらうために広報活動を試みる。

情報収集として一番普及しているブログを設立。闇川の日常やイベント情報を配信して、実際それらに対するコメントもきている。

また、ふるさと回帰フェアに参加し共同研究しているグラフィックゼミが作成したパンフレットやチラシを配布し闇川を知ってもらった。

- ・闇川の特産品であるミニ炭俵に関する改善。

闇川で開催した山開きでミニ炭俵を販売したところ売れ行きが悪く、何が原因なのか考察したところサイズと販売方法、価格に問題があると考え改善した。

具体的には二周りほど小さくし、三個一組の外に単体でも販売し、買いやすくした。

その結果、次のイベントで様子を見たところ少しではあるが売れ行きが上がる結果となった。

- ・闇川を飾るロゴ・キャラクター。

商品などを販売する際に闇川のものだということアピールするためのロゴと、炭を販売する際のキャラクターとして炭焼き職人である寅太郎さんの似顔絵を求められたので作成した。

他にも現地で獲れる天然岩魚なども闇川をアピールするキャラクターとして提案した。

これらのロゴやキャラクターは、寅さんの似顔絵は販売する為の炭に、闇川のロゴは名刺に使用された。



- ・外部のイベント、ふるさと回帰フェアの初参加

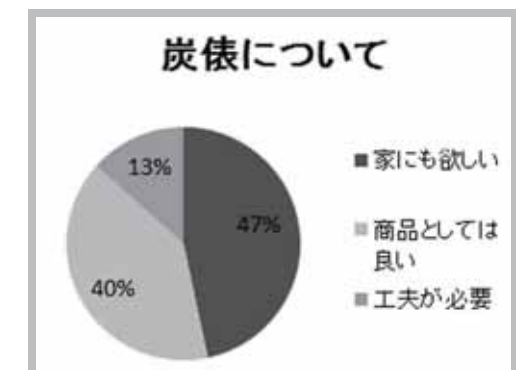
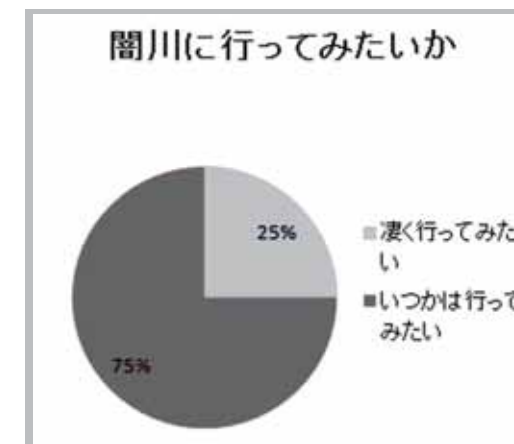
回帰フェアでは闇川の方々と協力して、なめこやミョウガ等の農作物、燃料用と食用炭、ミニ炭俵を販売し、天然の岩魚を試食として提供。闇川の存在と価値を広めることに努めた。販売する商品に、闇川産だということと他の地域と同じ商品になったとしてもこちらの方が魅力的だと感じさせるために半紙でラベルを作成。

当日行ったアンケートから好評だったが一部、色使いに問題があるという意見もあったので他に何色か作り闇川の方に意見を聞いた。しかし、使用する紙にもお金がかかることや印刷が難しいという理由で今後使用していくことは難しいかもしれない。

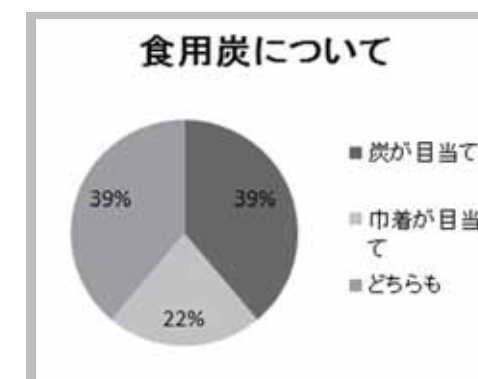
また、行ったアンケート調査の結果、闇川に行ってみようという意見と、主婦層にはしいたけや原木なめこなどの農作物が人気だったが、それに対して若年層には炭に対する興味があることが分かった。

他の地域の機の配置や商品の置き方、客を呼び込む工夫などを観察し後日行った反省会にて話し合いをし、次回に生かすことにした。

イベント自体が楽しかったのか、「次回もまた参加したい」という話もあったということで活気付けられたようだ。



当日行ったアンケートの結果の一部



食用炭

- ・炭、かや、間伐材など集落の素材を活用した商品のモデルを試す。

スケッチだけで終わらず立体にすることでよりイメージを深めた。作成したものは闇川の方に見てもらい、そこで改善点などが出たら改善商品としての完成度を高める。

- ・現在運営しているブログを闇川の人に引き継ぐ為の講習会を実施する（今後実施）

現在は私たちが更新しているブログを闇川の方たちが自ら更新できるよう講習会を予定。その際なるべく分かりやすいマニュアルを作成し配布する

【最終結果・問題点・感想】

- ・私たちが閨川集落を訪問し、閨川の方と協力してイベントを行ったり商品提案をしたりしていくことで、閨川の方たちにも活気が出て、ストラップや炭石鹸を作るなど新しいことに挑戦し始める結果となった。
- ・一人一品以上のアイデアを作成。「まずは気軽に閨川に触れてもらう」という面や「お土産で買ってもらう」という点で考えた結果、小物に集中したアイテム提案となった。
- ・秋のそば祭り以降、閨川の方と上手く連絡が取り合えずブログの更新が止まってしまったので引継ぎし、出来るだけ頻度の多い更新を期待したい。
簡単に楽しく更新ができるということが分かるような講習会をする。
- ・丸太を加工したアイデアを考え、それをいざ実行してみると木の硬さなどから作成が困難であったり、なかなか思う通りにいかないという事もあったので、自分たちでも作りやすい物考えた方が閨川の方たちにも親しみやすいかもしれない。(今回は桜・樺・朴の木を使用)



【ロゴ・キャラクター】



閨川を表すロゴ。赤と緑の2色作って検討してもらった(上は使用したバッチ)



門松ならぬ、門炭(かどたん)を考え、同時にキャラクターを作成。



炭焼き職人、寅太郎さんの似顔絵炭を売るときに使用



閨川で獲れる天然岩魚をイメージしたキャラクター。



【製作物・アイデア】



実際に使用したラベル「おいしい」と「みい~つけた」の間に「くらがわ」と手書きで入る。右の写真は実際に商品に使用したもの。

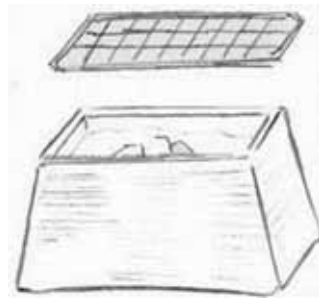
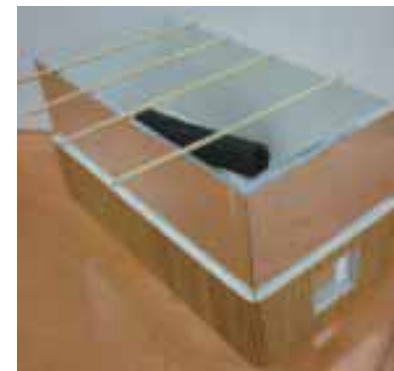


炭を加工して作ったストラップ。脱臭とアクセサリを兼ね備え、ニスを塗ることにより損傷もほとんど無くした。



炭の粉を混ぜ込んだ「スミィ-ツ」炭の食感が消えるくらい細かくするためにはそれ相応の機械が必要のため不可能だった

寅さんに因んで、虎を模した臭い消し袋。中に炭が入っており、脱臭アイテムとして使用。



家庭で気軽に使える大きさの火鉢。木の皮を使うなどして風情を出した。



飲食用に1回分の炭セット。気軽に炭を生活に取り入れることを目的とした。



門炭(かどたん)玄関などに置いて消臭効果を期待。

丸太と炭を加工して、炭のブランコに。消臭とインテリアとして使う。

